

## レッスン4

### A. お祈りの暗唱と暗記

開始のお祈りに続いて、これまでのレッスンで暗記したお祈りについて復習しましょう。

### B. 歌

次の活動で、誠実というテーマについて新しい歌を教える前に、これまでに習った歌を子どもたちに歌ってもらいましょう。

#### Truthful Words

G D  
A mirror that's covered up in dust

A D  
Cannot reflect the sun's bright light

G D  
A bird with wings all full of mud

A D D7  
Is unable to take flight

#### CHORUS:

G D  
When all of our words are truthful

A D D7  
Our souls are able to progress

G D  
The foundation of all human virtues

A D  
We know is truthfulness

#### CHORUS

A ship cannot catch the wind  
If it is using a torn sail  
Eyes can't see the path ahead  
If they are covered up in veils

CHORUS (*with last line repeated*)

### C. 引用句の暗記

このレッスンのテーマと引用句について次のように説明するとよいでしょう。

誠実はずべての人間にとって、一番大事な精神的資質の一つです。どんなに小さな嘘であっても、たとえ誰にも嘘だと気づかれなくても、嘘をついてはなりません。私たちは時々、本当のことを話すのが怖くて嘘をつきます。けれども、神様は私たちがすることを全部ご存知で、何も隠すことはできません。真実を愛すべきです。誠実でないと、正義とか、愛とか親切、その他いろいろなよい資質を発達させるのが難しく、神様に近づくことも難しくなります。バハオラの次の引用文を暗記しましょう。

**誠実であることは、すべての美德の基礎である。** <sup>102</sup>

以下は上の引用文で子どもたちにとって難しいかもしれない言葉の意味を説明するとき、あなたの助けになるでしょう。

#### <誠実>

1. サンジェイ君はグラスを落として割ってしまいました。お母さんからどうしたのかと訊かれたとき、サンジェイ君は嘘をつかず本当のことを言いました。サンジェイ君は誠実さを示しました。
2. ギタちゃんはある日の夕方遅くまで遊んだので、宿題を終わらせることができませんでした。次の日、宿題を提出しなければならない時、ギタちゃんは、本当のことを言うと先生に怒られると思ったけど、本当のことを話そうと決めました。ギタちゃんは誠実さを示しました。

#### <美德>

1. オーロラちゃんは優しく、礼儀正しく、親切な女の子です。優しさ、礼儀正しさ、親切は、オーロラちゃんの持っているたくさんの美德のいくつかです。
2. パテル先生は子どもたちに正義や、寛大、謙虚、正直について教えます。これらは、皆が持つべき大事な美德の例です。

## <基礎>

1. アロック君のお父さんは家を建てていました。壁を作る前に、石とセメントで下地を固めました。石とセメントは家の基礎になります。それは家をしっかりと支えています。
2. 読み書きを習い始める前に、文字とそれらの音を知らなければなりません。文字の音を学ぶことは、読み書きの学習の基礎です。

## D. お話

次に、以下のストーリーを聞かせましょう。誠実について考えさせる助けになります。

昔、あるところに羊飼いの少年が暮らしていました。お父さんが畑で働き、お母さんが家事をする間、この少年は羊の世話をすることになっていました。ある日のこと、少年は面白いことはないかなと思ひ、村の人をからかうことにしました。突然、大声でこう叫び出したのです。「<sup>おおかみ</sup>狼が来た！狼が来た！狼が羊を食べちゃうよ！！」村人たちが狼を追い払おうと走ってきました。しかし、そこにはだまされた村人を見て大笑いする少年がいるだけで、狼はどこにもいませんでした。皆は、なんてひどいはずらをするんだろうと言いながら、仕事に戻りました。

次の日、少年はまた嘘を繰り返しました。「狼だ！狼だ！助けて！助けてー！！」何人かの人々がまた走って助けに来ました。けれどもそこにいたのは「狼が来たなんて嘘だよ」と言って、げらげら笑う少年だけでした。その次の日、「狼が来た！狼が来た！狼が羊を食べちゃうよー！助けに来て！！」という声を聞いた村人は、まったく気にもとめませんでした。またいつもの嘘だと思ったからです。ところが、この時は本当に狼が来て羊を食べてしまったのです。少年はとても悲しかったのですが、大事なことを学びました。嘘ばかりしていると、本当のことを言っても親も兄弟も友達も、誰も信用しなくなるということです。

## E. ゲーム「電報ごっこ」

次は「電報ごっこ」というゲームです。子どもたちは同じ方向を向いて一列に並びます。列の一番前の子どもの前には黒板か紙があります。筆記用具も必要です。子どもの数が多ければ何列かになってもかまいません。

あなた(先生)は列の一番後ろの子の背中に指で何か書きます。その子は自分の前の子の背中に、先生が書かれたことを書き、書かれた子はまた前の子の背中に書きます。そして一番前の子どもが黒板か紙に、自分の背中に書かれたことを書きます。それから、その横にあなたが最初に指で書いたことを書きます。書く内容は、子どもたちが書きやすいように、簡単なものにしましょう。

#### F. ぬり絵 4

次の活動として、子どもたちに図4のコピーを配り、ぬり絵をさせましょう。

#### G. 終わりの祈り

いつものように、お祈りや引用句を唱える間、子どもたちに静かにするように言います。



せいじつ  
誠実であることは、すべての美徳の基礎である。